

令和5年度 岐阜県自治連絡協議会研修大会報告

- 1 日時：令和5年11月10日（金）午前9時30分～午後5時ごろ
- 2 参加者：区長18名 随員（区長会事務局）2名
- 3 場所：土岐市文化プラザ サンホール
- 4 内容：
 - 1 開会のことば 2 先輩物故者に対する黙祷
 - 3 表彰状・感謝状贈呈 4 会長あいさつ
 - 5 開催地市長・議長祝辞／開催地の土岐市長及び土岐市議会議長から開会を祝うご挨拶
 - 6 来賓祝辞／古田知事が、公務のため欠席され、大森副知事から開会を祝うご挨拶
 - 7 記念講演
講師：合同会社フォーティR&C 代表 水津 洋子氏
演題：「今、求められる自治会のあり方とは」
若い方たちを呼び込み、参加したくなる魅力的な自治会活動の在り様について講演頂いた。

令和5年度 区長会視察研修報告

- 1 日時：令和5年11月22日（水）午前8時半～午後5時
- 2 参加者：区長28名 随員（区長会事務局）3名

3 視察内容

（1）海津市駒野工業団地視察

海津市の企業誘致事例として駒野工業団地（2区画）を視察し、同市商工振興・企業誘致課より団地開発の経緯や現状についての説明を受けた。

現在、株式会社ジーテクトの工場建設工事が進行しており、令和6年秋に稼働する予定となっている。もう一方の区画については、経済情勢から進出予定企業の撤退が決定したが、それ以降企業からの新規問い合わせが急増しているとのことである。



海津市による駒野工業団地の説明

（2）海津市自治連合会との意見交換会

海津市は自治会加入率81%を保ち、地域活動への積極的な取り組みが見られる。活動状況を学び、参考とするため意見交換会を企画した。当日は海津市市民活動推進課および同自治連合会より、自治会活動の取り組み状況について説明を受けた後、5グループに分かれて意見交換会を実施した。主な意見としては、以下のような声が聞かれた。

◆自治会運営

- ・自治会のデメリットを協力して克服している。協力し合うことで団結力につながっている。

◆負担軽減

- ・回覧書類は、市で月1回自治会宛て送付。令和5年より、市ホームページに回覧書類を掲載。

- ・準会員という制度を設け、会費を半額にしている。80 歳以上は区の役員と会費を免除している。
- ・無形文化財「火祭り」の継承は大変だが、区長がやると言ったら皆ついてくる
- ・ゴミは地区・氏名を記入して出すルール。不適切な場合は本人が回収。本ルールに苦情や不満はない。
- ・30 歳代～50 歳代の市民が自発的に「和会（なごみかい）」という組織を立ち上げ、地域の祭りや高齢者見守り、ゴミ出し支援等の活動に取り組んでいる。会費不要、入退会自由で、自分の都合に合わせて活動可。運営費用は地域の事業者から寄付金を募っている。

◆役員選出：区長 OB が一緒になって後継者を選出決定している。

◆役員任期：自治会役員の任期は2年と定めている場合が多いが、区長は長く務めている方が多い。



海津市自治連合会との意見交換会

（3）多治見高田テクノパーク視察

多治見市は平成 19 年に企業進出支援の専門部署「企業誘致課」を立ち上げ、28 企業の進出や、事業拡大を支援してきた。最新の事業用地である第 1 期高田テクノパークを視察しながら、多治見市の企業誘致の説明を受け、第 2 期高田テクノパーク進出企業の水谷産業株式会社の視察を行った。



第 1 期・第 2 期 多治見高田テクノパーク パース図



第 2 期多治見高田テクノパーク
水谷産業株式会社 高田工場



水谷産業株式会社 高田工場内視察